

## 日本銅センター

間もなく開幕するリオデジャネイロ五輪の開催地であるブラジルなど中南米を中心に流行し、一部競技の選手が出場辞退の理由にもしたことで話題となったジカ熱。そのウイルスを媒介する「ヒトスジシマカ」の発生を、銅の殺菌特性で抑制できることが分かってきた。銅の用途開発などを目的とする日本銅センターは、その有効性を強調する。

銅は米環境保護庁がそ

# 蚊の発生 銅が抑制

## ジカ熱などウイルス媒介



ヒトスジシマカ

の殺菌特性を認めており、病原菌やウイルス、原虫などほとんどの微生物に対して効果を発揮することが知られる。その殺菌特性は、蚊の幼虫であるボウフラに対して

も、成長を阻害するとい

う。こうした特性は以前から知られていたが、昨年

6-12月に日本環境衛生センターが行った試験でも、その効果が鮮明に表れた。

ガラス、フメテンレス、樹脂のそれぞれの容器に500μlの水を満し、花立て用の銅板加工品を入れたものを神奈川県内4カ所で屋外に配置。銅板を入れなかった場合とボウフラの数を比較したところ、入れないものでは7月後半から9月前半

にかけ平均50-200匹程度発生したが、入れたものでは1匹も確認されなかった。

ヒトスジシマカはジカ熱だけでなく、2014年に代々木公園などで感染が広がったデング熱も媒介する。銅センターは、お墓の花立てや鉢植えの受け皿など、屋外で水が常にたまっている場所に銅を使用することで、蚊の発生抑制効果が期待できるとみている。今後、公園などで雨水を集める雨水桝での試験も行う。

横浜伸銅株式会社 営業部

TEL:045-461-0941 FAX:045-461-6305